

令和6年度(2024年度)市川市立宮久保小学校 学校経営ビジョン

学校教育目標

「夢に向かって挑戦 Challenge for Dream」

～知徳体の調和のとれた人間の育成～

心身ともに健康でたくましく、相手を思いやる豊かな情操をもち、自分で考え判断し、他者と協力し行動できる児童の育成を図る。

1 経営の基本方針

- (1) 自分の良さを生かし、互いに認め合い、学び合い、励まし合うことで、互いに高め合える児童を育成する。
- (2) 児童一人一人の良さや可能性を見出し、引き出し、伸ばす教職員となる。
- (3) 児童の成長のために、全職員が協力・協働する学校を作る。
- (4) コミュニティ・スクールにより「人が人を育てる」「人が人と人とをつなぐ」学校づくりを行う。

2 学校づくり推進のためのイメージ像

(1) めざす学校像

- 意欲と活力のある児童と教職員が信頼の絆を深める学校
- 地域に支えられ、地域を支える学校

(2) めざす児童像

- 自ら学び・考え、課題に向かい粘り強く取り組む児童
- 人間性豊かで、礼儀正しく、思いやりのある児童
- 心身ともに健康でたくましい児童

(3) めざす教師像

- 児童の心に寄り添い、一人一人をよく理解し、大切にする教師
- 児童のために、自らの資質向上に努める教師
- お互いを尊重し認め合い、学び合い、仲間とともに高め合う教師

(4) ねがう保護者像

- 子どもの共育のために、教職員と協働・協力する保護者
- 子どもを愛し、責任をもち教育する保護者

(5) ねがう地域像

- 地域が好きになる子どもたち、地域の中で育つ子どもたち、地域を支えていく子どもたちの育成に向けた、共育のできる地域。

3 本年度の経営の重点

考えて行動 ・ 自分から挨拶 ・ 進んで運動

(1) 探求的な学びの推進

- 主体的・対話的で深い学びを実現するための単元構成
- 体験活動及び特別活動の充実
- 児童の好奇心を掻き立て、主体的に取り組む学習の工夫

(2) 言語能力の育成(読書活動の充実、図書資料活用の推進)

- 話す・聞くの明確なルールづくり
- 美しい日本語と言語活動の充実
- 読書活動及び資料活用の充実

(3) 学習用端末の活用推進

- 課題や目的に応じて様々な情報を主体的に収集し、必要な情報を選択
- 一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的な授業の推進
- 一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習の充実

(4) 児童の体力の向上

- 基本的生活習慣の育成と、健康教育の充実
- 正課体育の充実
- 給食指導を中心に食育の充実

(5) 多様な教育的ニーズに対応する学びの推進

- 児童理解と指導の充実
- 道徳の時間を中心に学校の教育活動全体を通じた実践力の向上
- 粘り強く継続的な支援と年間を見通した教育活動の実施